

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10010320

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	[全体計画内容] ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	16 交通体系の整備	事業優先度	B	
単位施策	1 道路環境の向上	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	建設図面システム導入事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	10 建設水道課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	導入機器数		#N/A	
事業目標	システム一式	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	無	
住民協働		関係個別計画名	無	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	○デスクトップパソコン1台、モニター1台、プリンター1台、建設図面プログラム3式	・建設図面システム導入 (5年間リース料等)	・建設図面システム導入 (5年間リース料等)	・建設図面システム導入 (5年間リース料等)	・建設図面システム導入 (5年間リース料等)	・建設図面システム導入 (5年間リース料等)
	事業費(千円)	1,370	270	275	275	275
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	1,370	270	275	275	275	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	244	244	0	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	244	244				
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		・建設図面システム導入 (5年間リース料等)			
		※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値	システム1式	システム1式	システム1式	システム1式
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	90%	0%	0%	0%
	全体達成率	18%	18%	18%	18%	
	事業進捗状況	☆☆☆☆				

事業名	建設図面システム導入事業	評価者	管理職	職氏名	建設水道課長	渡邊孝司
		評価者	作成者	職氏名	土木管理係長	田原慎也

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	発注者、受注者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	導入システム数
【抱える課題やニーズは】	設計積算業務の効率化	指標(指標計算式/解説)	目標年度 実績年度
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	電子データの受け渡しによる設計積算業務の効率化を図る。	① 導入システム数/導入システム数	目標年度 実績年度 達成度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	効率的な設計積算業務の効率化が図られる。	②	目標年度 実績年度 達成度
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①民間業者により実施	民間業者から見積りを徴し長期継続契約(5年間)による建設図面システムを導入した。	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	発注者と受注者が設計図面の電子データを受け渡しながら、業務の効率化を図るものであり、受注者の時間とコスト削減に繋がるものであるため、発注者である町がシステムを導入することは必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	図面システムの導入により、発注者及び受注者の負担が軽減が図られた。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	図面システム導入により、製図や修正に要する時間短縮及び作業の軽減が図られ、効率化的であると判断する。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	図面システムにより、対象者である発注者及び受注者の時間短縮、作業の軽減が図られたことは、公平であると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
事業が目標どおり達成された。		

今後の展開方向
(Action)

終了		
システム導入事業であることから、次回更新までは経常的経費として思慮するものであり平成25年度終了としました。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止